

議事2「医療提供体制整備について」

- ①愛媛県の難病医療提供体制の概要
- ②アンケート調査の結果



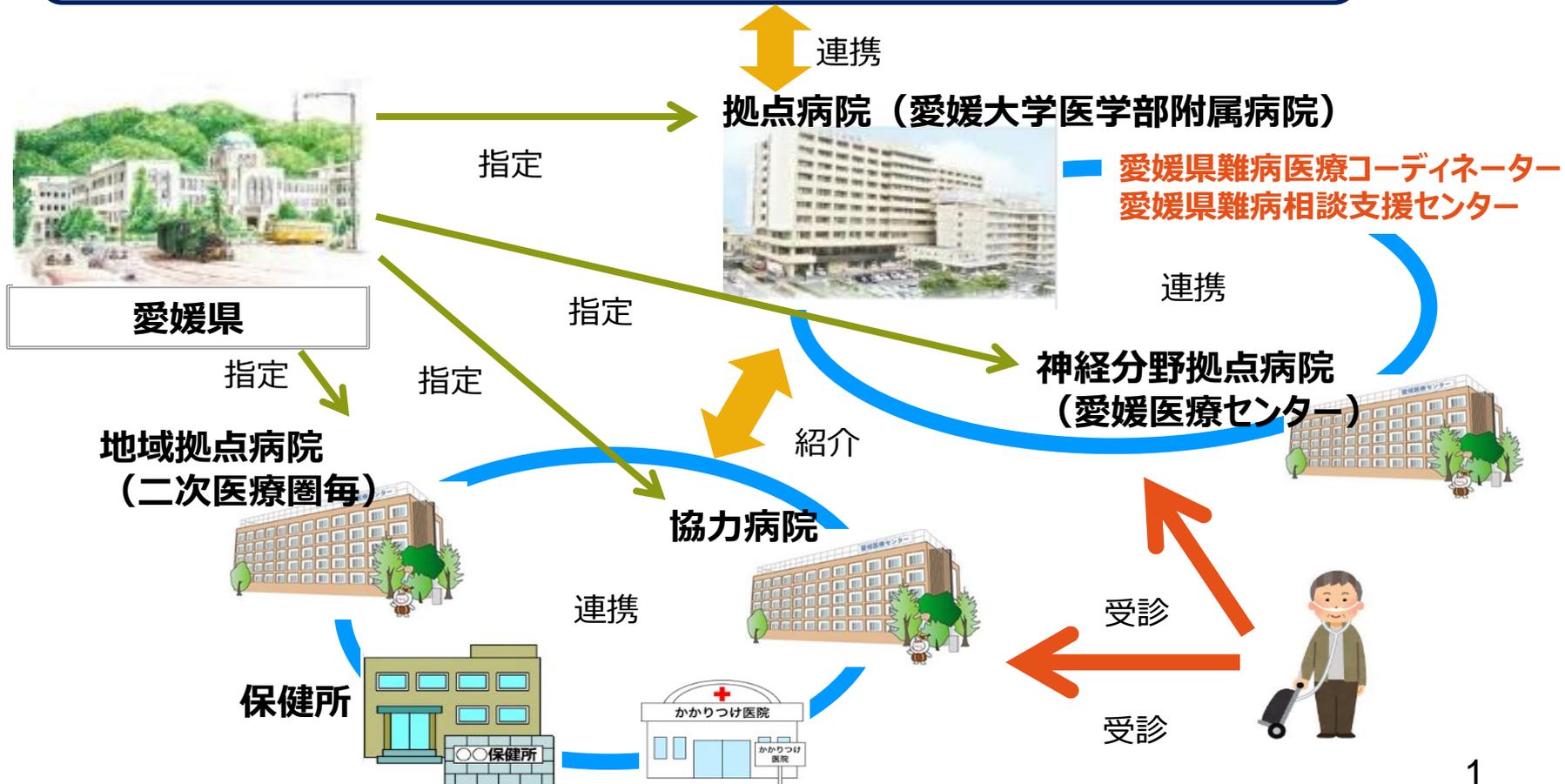
令和8年2月13日
愛媛県難病医療連絡協議会事務局

愛媛県の難病医療提供体制

1. できる限り**早期に正しい診断**ができる体制
2. 診断後は、**身近な医療機関で適切な医療**を受けることができる体制

難病医療支援ネットワーク

(国立高度専門医療研究センター、難病研究班、各分野の学会、IRUD)



県内の拠点・協力病院

R7.4.1

美須賀病院を協力病院に追加指定

★ 拠点病院(中核)1 (神経)1

◆ 地域拠点病院 5

▲ 協力病院 51

【松山圏域】

★ 拠点(中核):愛媛大学医学部附属病院

★ 拠点(神経分野):愛媛医療センター

▲ 協力病院:13力所

【今治圏域】

◆ 地域拠点:愛媛県立今治病院

▲ 協力病院:9力所

今治圏域

【新居浜・西条圏域】

◆ 地域拠点:十全総合病院

▲ 協力病院:8力所

八幡浜・大洲圏域

松山圏域

新居浜・西条圏域

宇摩圏域

【宇摩圏域】

◆ 地域拠点:HITO病院

▲ 協力病院:6力所

【八幡浜・大洲圏域】

◆ 地域拠点:市立八幡浜総合病院

▲ 協力病院:8力所

宇和島圏域

【宇和島圏域】

◆ 地域拠点:市立宇和島病院

▲ 協力病院:7力所

R7.4.1

西岡病院を協力病院に追加指定

令和7年度拠点・協力病院アンケート調査の概要

【目的】

難病医療提供体制の現状把握と今後の方策を検討するため

【対象】

難病医療拠点病院	1カ所	
難病神経分野拠点病院	1カ所	
難病診療連携地域拠点病院	5カ所	
難病医療協力医療機関	51カ所	計58カ所【回収状況:53カ所(91.4%)】

【基準日】 令和7年12月31日時点

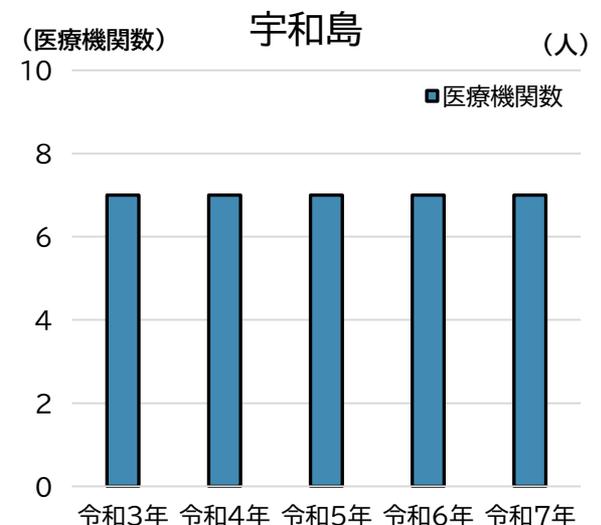
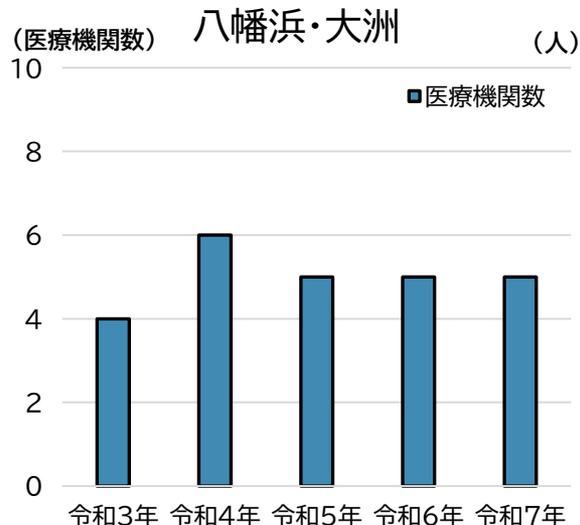
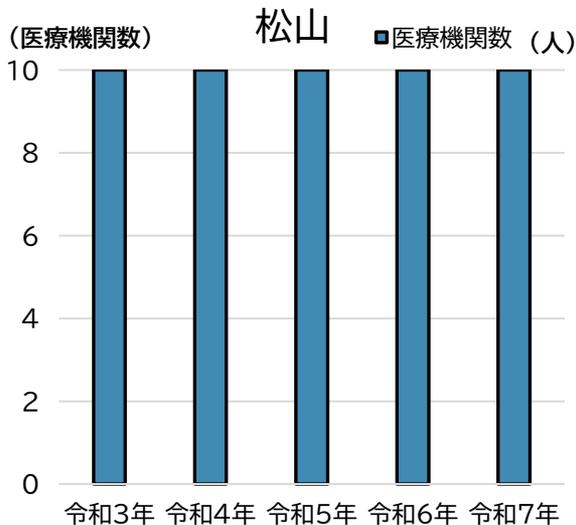
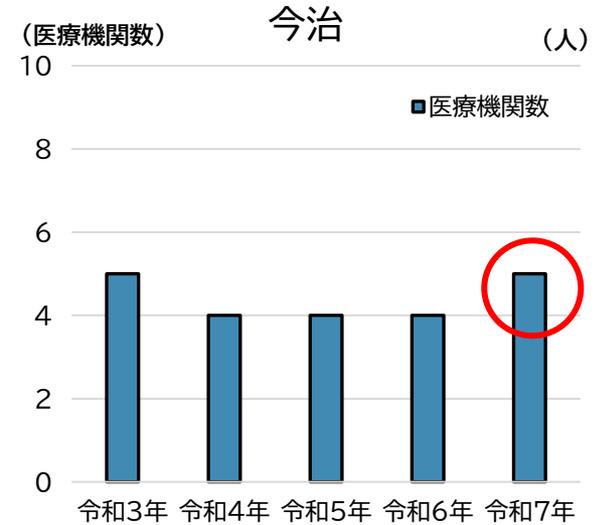
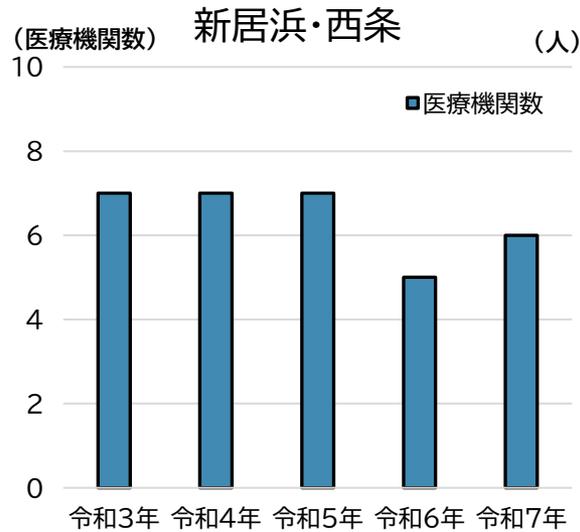
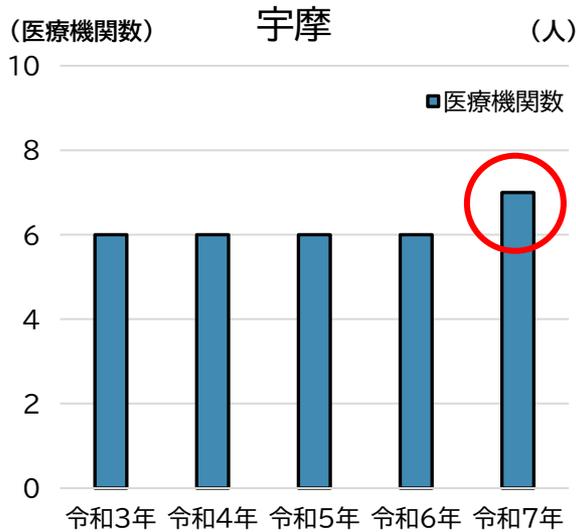
【方法】 LoGoフォームによる回答（URL、QRコードを記載した依頼文をメール配布）

【回答者】 難病支援に中心的に関わっている方

【内容】

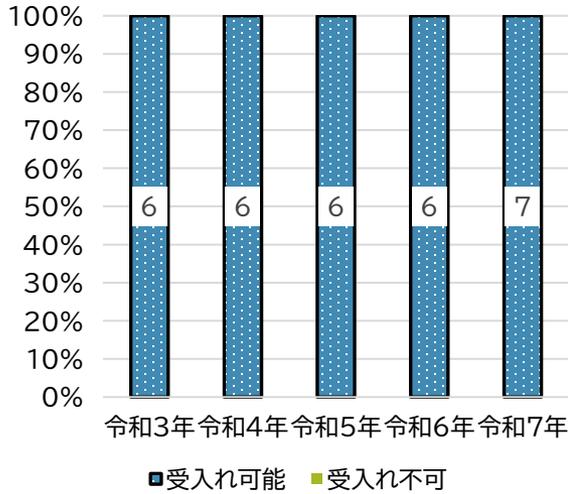
基本情報、難病患者の治療・受入れ体制、難病患者の在宅療養支援体制、レスパイト入院の受入れについて、**災害時の対応について、レスパイト入院中のリハビリテーションについて、難病患者の意思伝達装置の利用実態について**

圏域別レスパイト入院受け入れ可能医療機関数の推移

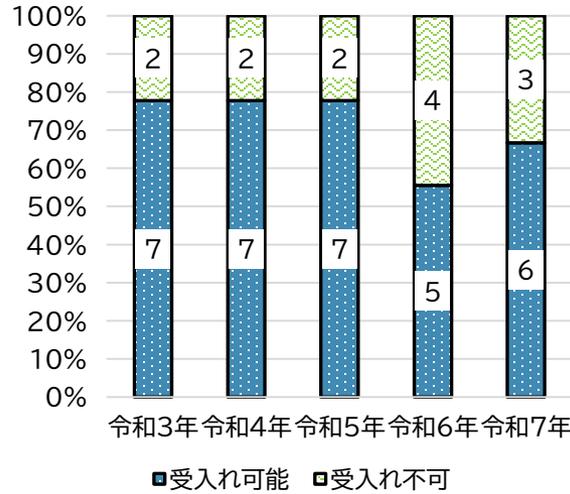


圏域別レスパイト入院受け入れ可否 医療機関割合の推移

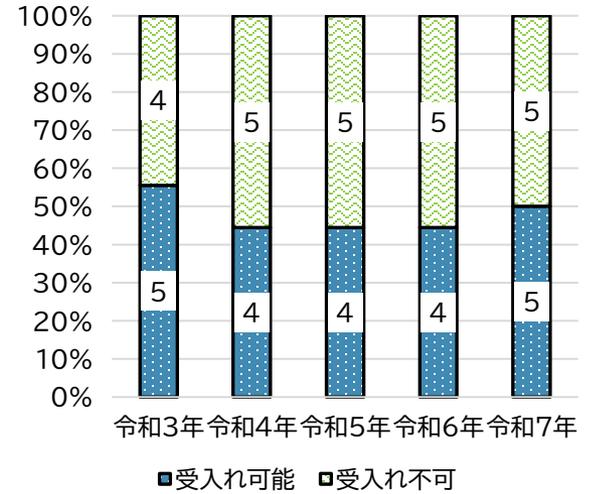
宇摩



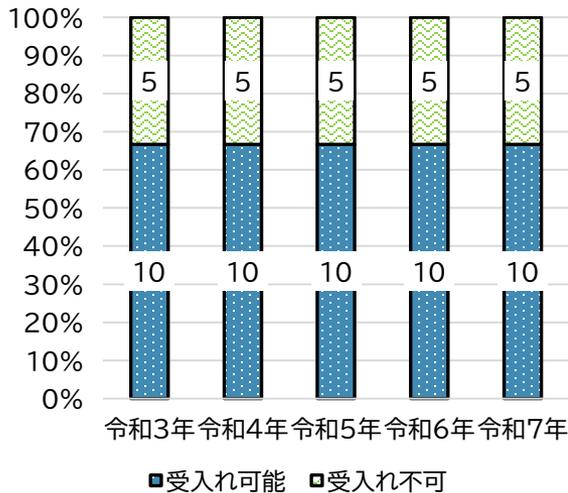
新居浜・西条



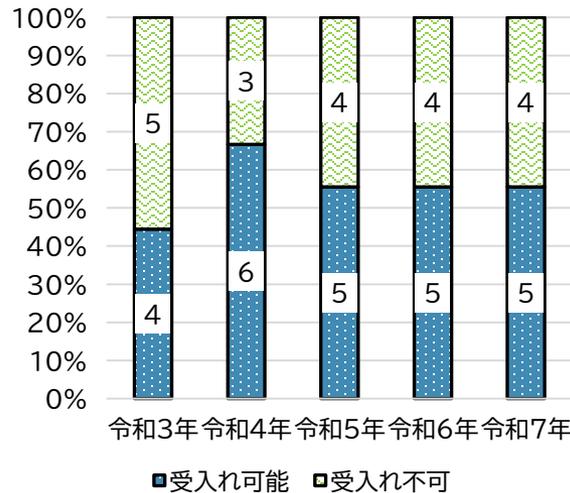
今治



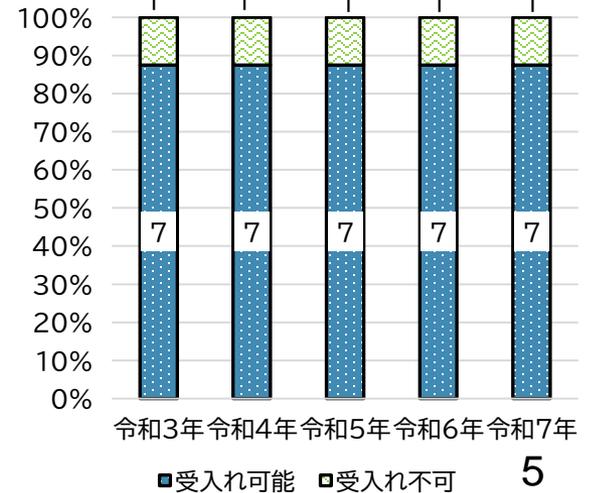
松山



八幡浜・大洲

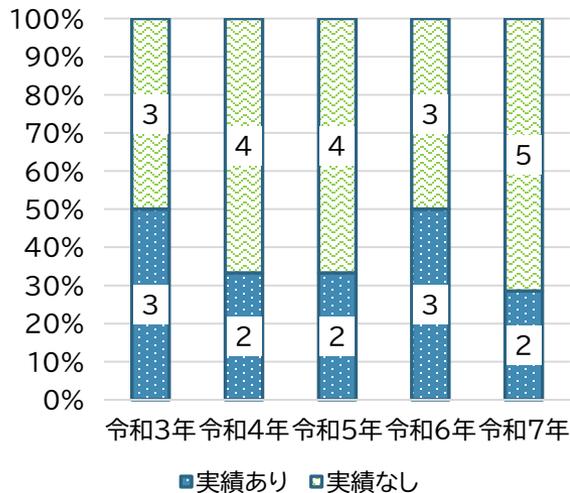


宇和島

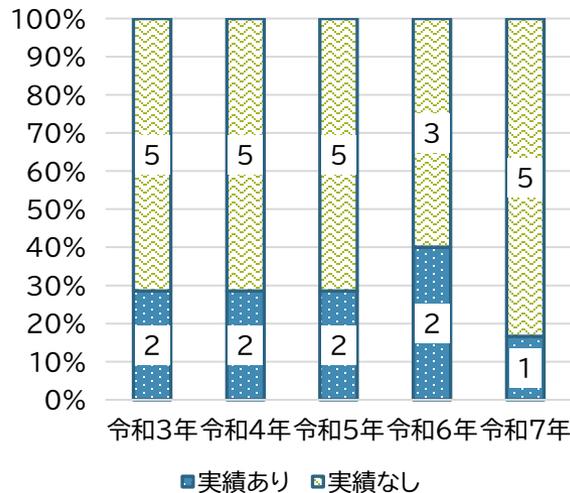


圏域別レスパイト入院受入れ実績有無 医療機関割合の推移

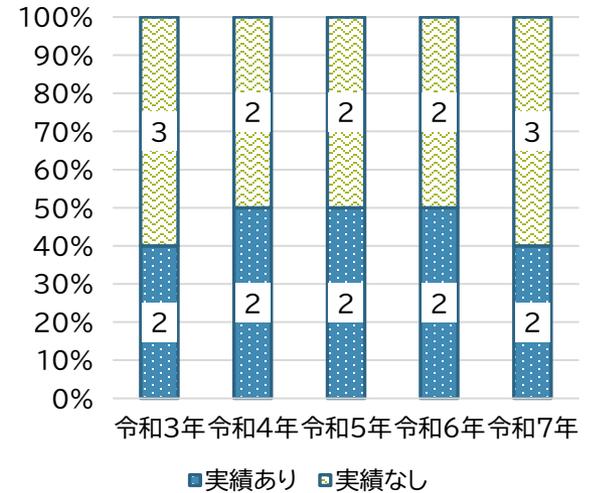
宇摩



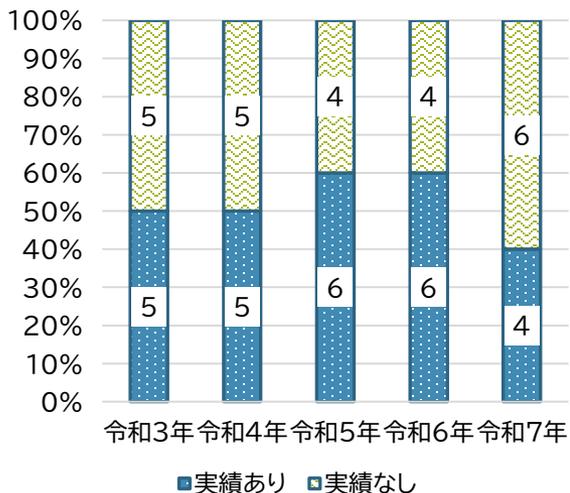
新居浜・西条



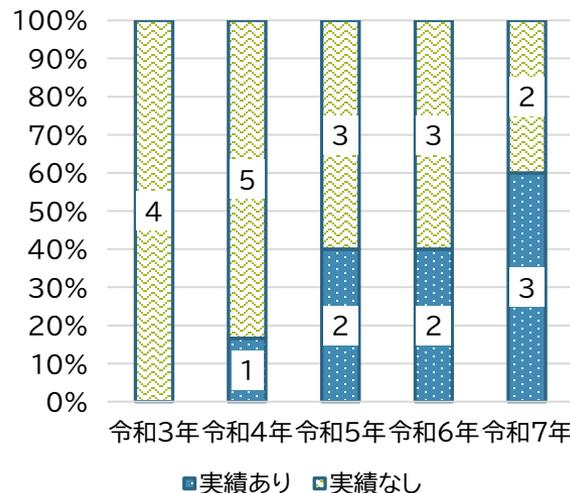
今治



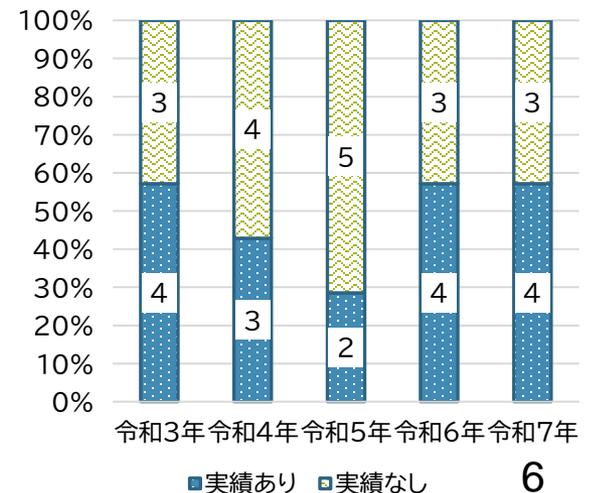
松山



八幡浜・大洲

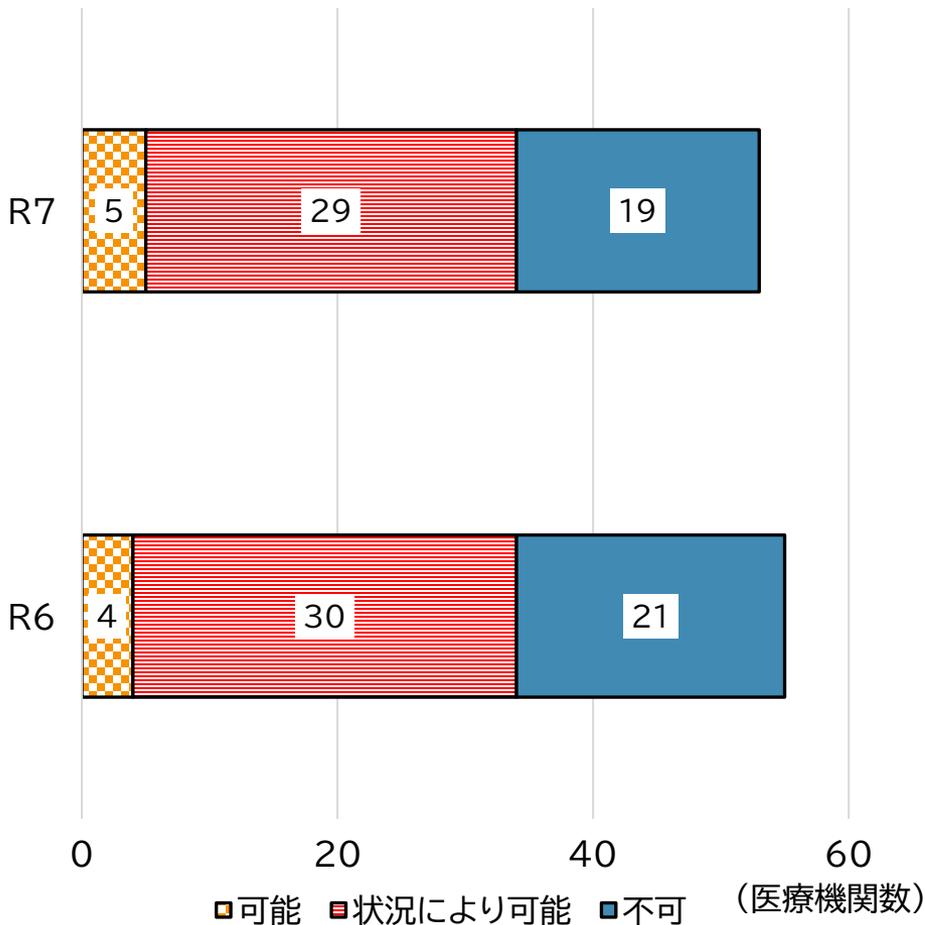


宇和島

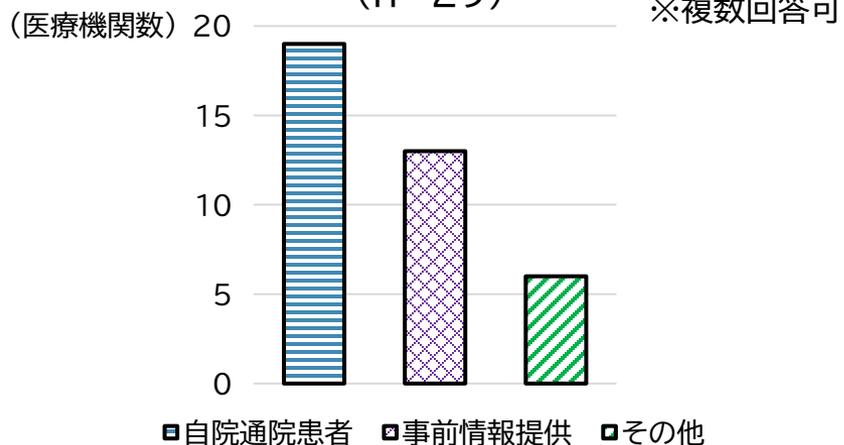


災害時の対応について

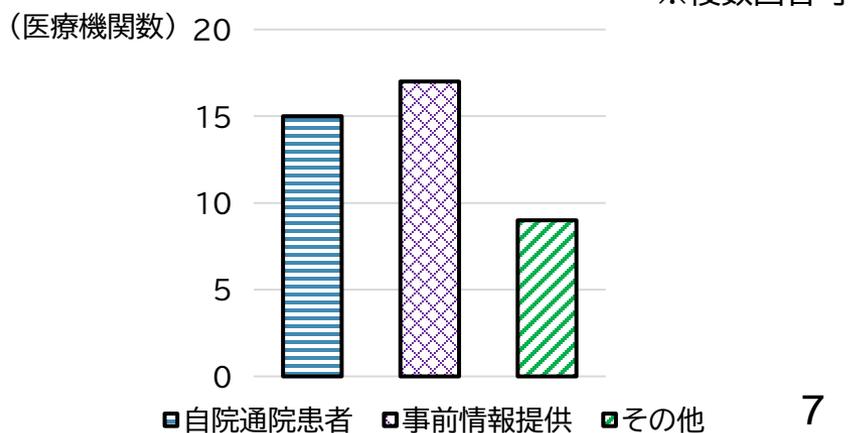
電源確保のための受入れ状況



令和7年状況により可能な場合の内訳 (n=29)

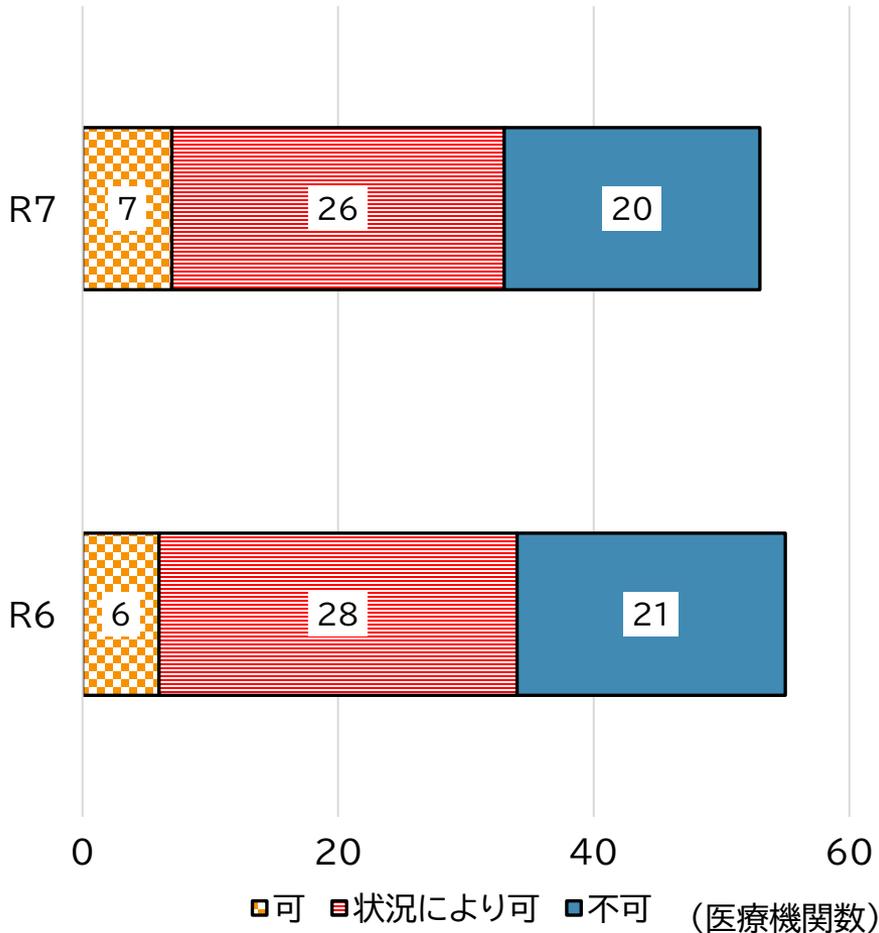


令和6年状況により可能な場合の内訳 (n=30)



災害時の対応について

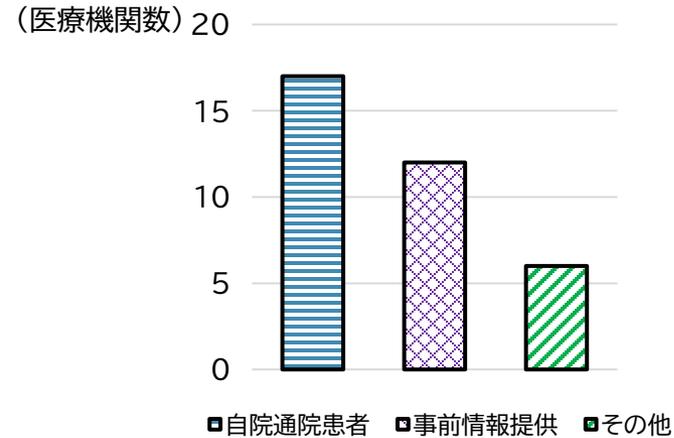
外部バッテリー充電の対応状況



令和7年状況により可能な場合の内訳

(n=26)

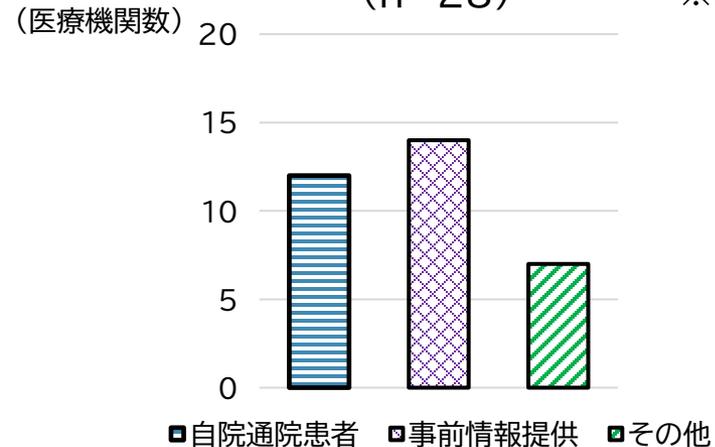
※複数回答可



令和6年状況により可能な場合の内訳

(n=28)

※複数回答可



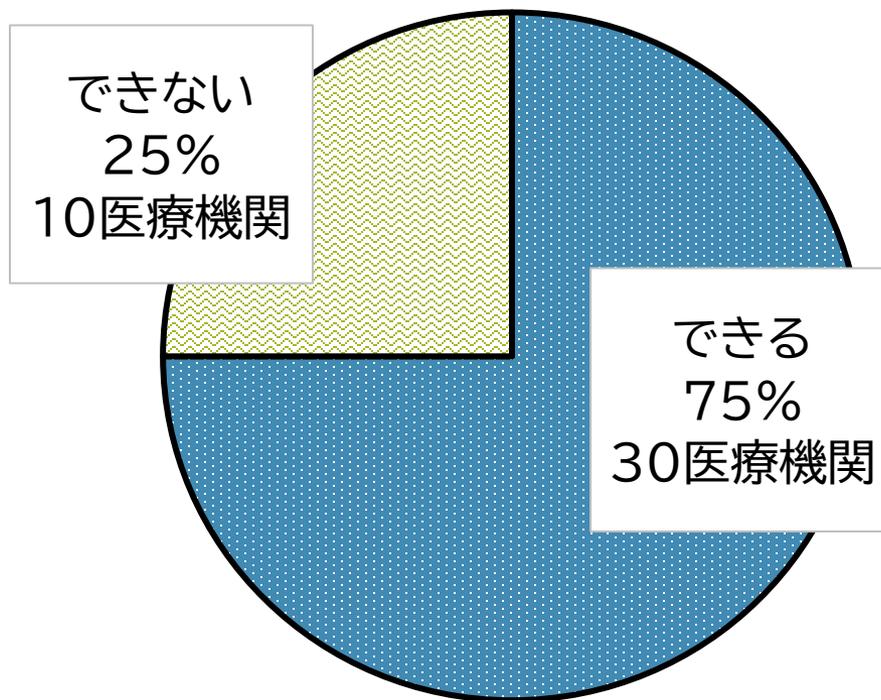
令和7年度アンケート調査に追加した項目

- ①レスパイト入院中のリハビリテーションについて
- ②難病患者の意思伝達装置について

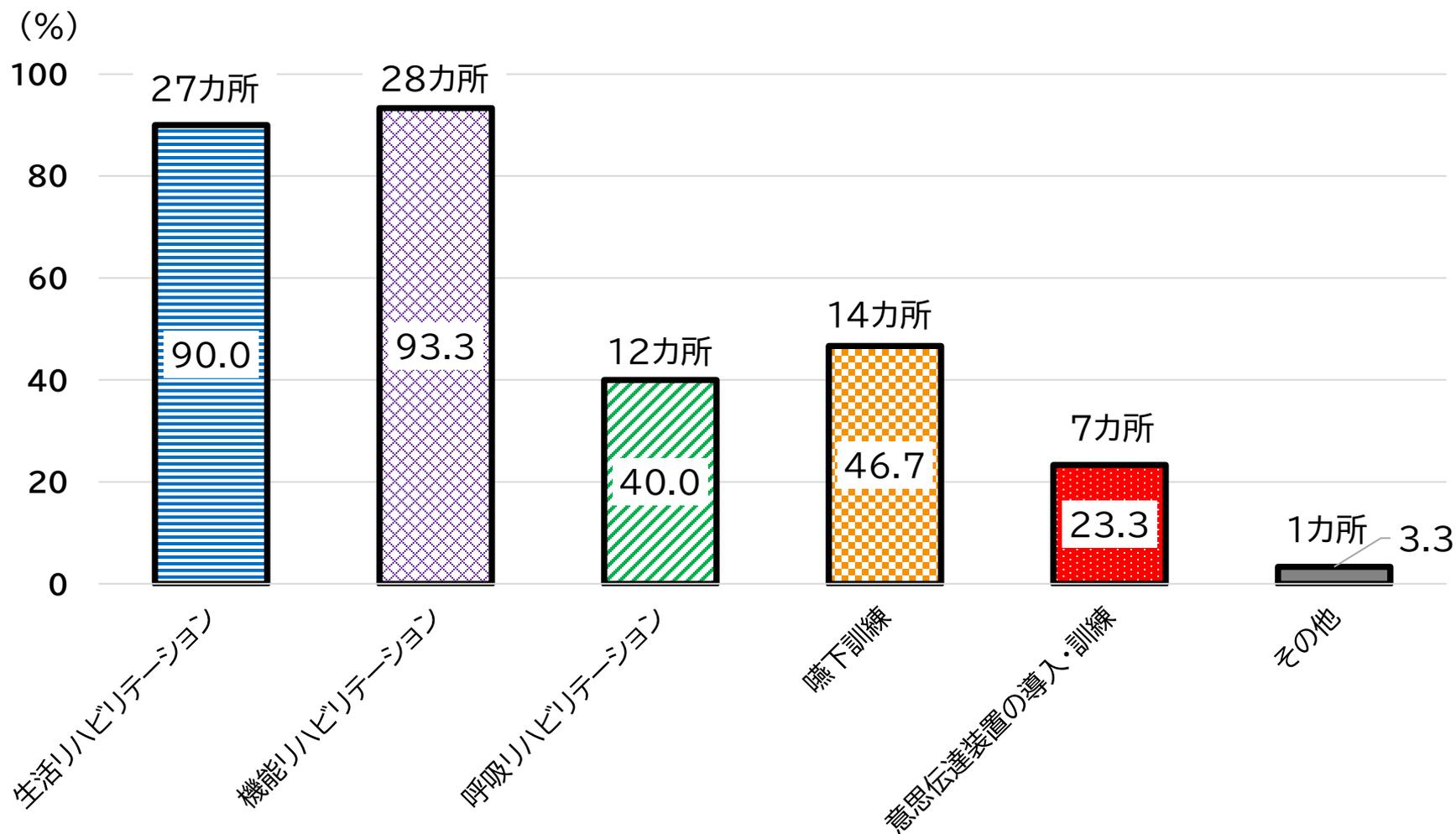
圏域別の医療機関におけるレスパイト入院中の リハビリテーション対応可否(n=40)

レスパイト入院中における
リハビリテーション対応の可否(n=40)

■ できる ■ できない

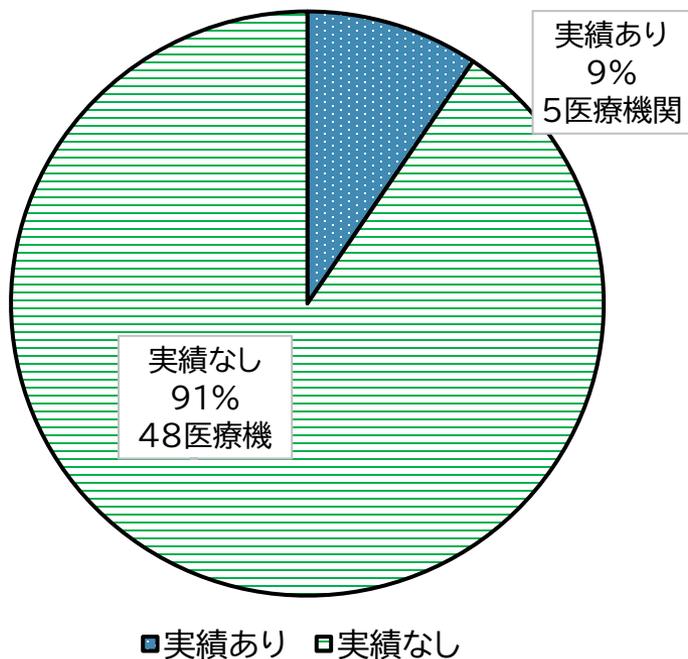


愛媛県内の医療機関におけるレスパイト入院中の リハビリテーション内容(n=30)



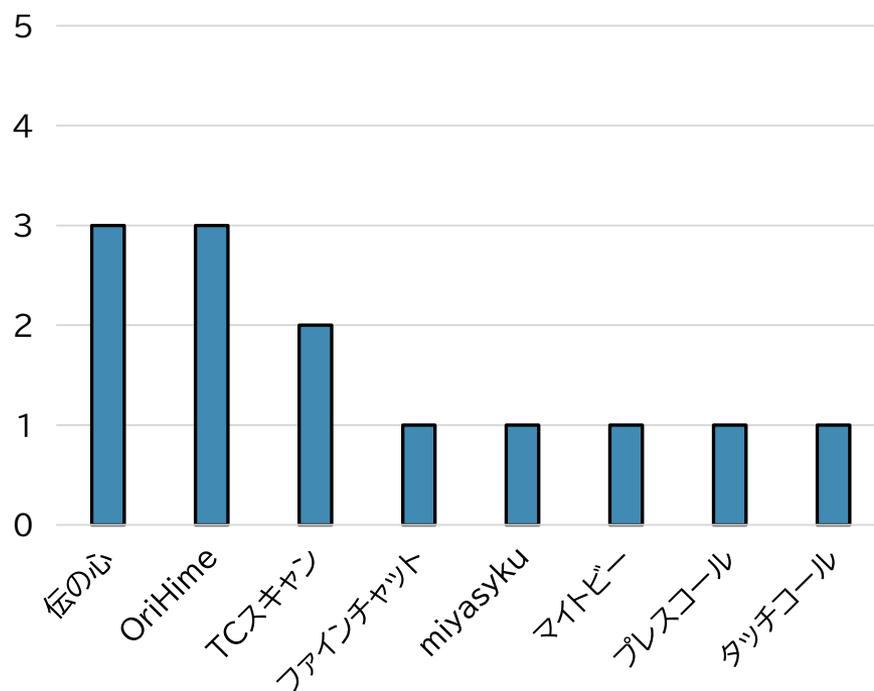
難病患者の意思伝達装置の支援実績について

支援実績の有無(n=53)



支援実績のある意思伝達装置 (n=5)

(医療機関数)



難病患者の意思伝達装置の体制整備について

導入・利用を支援するために必要な体制(n=53)

